



山を越えれば隣町、そんな地域に魅力を感じ川ノ内地区におじゃました。

北に大きな山が見える。大小権現山である。標高692・7mで旧窪川町では折合山に次いで高い。その山の向こうは中土佐町になる。大山の麓の里は谷あいで想像されがちだが、ここ川ノ内は、田んぼが連なり24世帯が暮らす田園の里である。



大小権現山 (だいしょうこんげんざん)

平成19年には場整備が完成し、24・5haの農地が広がる里である。米作が中心だが、生姜の栽培もあり、ハウスではトマトやイチゴが作られている。さすが大山の麓、水田用水は何とかがあるとのこと。「忙しくなりますね。生姜ですか？」地元の方に声をかけると、「そうよ。まいっちよらあよ」と返ってきた。やっと乾いたら、その時タイミング悪く雨が降り、は種作業が約一カ月遅れているそうだ。天気相手の露地農業、こればかりは・・・。

この地区には水道がまだない。平成24年に着工完成の予定で、現在は井戸水を生活用水としている。しかし、万一の時のために防火用水槽は2つある。備えあれば憂い無し。

この地の名物を聞くと、安楽寺の「あすなろ」と教えてくれた。なるほど立派な木。周りに邪魔な物がないので自由奔放、四方八方へ枝を延ばし、子どもでも天辺まで登れるほど。さて、幹回りを計ってみた。2・5mもあった。檜にあげられ、明日には檜になろう、あすなろうと思っただ木、これだけ立派だと檜にならなくて良かったよ。あすなろのまま。

安楽寺は、今は小さなお堂だが由緒ある寺だったのでうかがえる。錠がかかってなかったので入らせてもらった。3体の仏像を中心に10体ほど安置されていた。真中の釈迦如来像は蓮華の上にお乗りになり、その蓮華の彫刻の美しさに感動を覚えた。

春の陽気の中、良い一日だったことに感謝し、お騒がせしました、と須賀神社にお礼を申し上げます。帰り道は奥呉地に通ずる町道を選んだ。



あすなろ

## 町のうごき

(3月31日)	人口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	9,322	-78	男 4	15	36	103
女	10,445	-55	女 9	12	33	85
計	19,767	-133	計 13	27	69	188
世帯数	8,779	-36	(3月中の届出)			

## 四万十川の水質状況

	適正値(mg/l)	3月15日
リン酸	≤ 5.0	0.134
硝酸	≤ 0.5	0.631
アンモニウム	≤ 5.0	0.800
アニオン活性剤	≤ 1.0	0.550
化学的酸素消費量	≤ 10.0	6.043

調査：大正(吾川)  
資料：四万十高校自然環境部

● 四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/>

※ 広報「四万十町通信」はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)